



地域の高齢者が子どもたちとふれあう特別授業!

自作「かるた」で遊んで学ぶ身近な福祉

10月7日(火)、東郷小の6年生109人を対象に、「ゆめクラブ応援団」が特別授業を行います。

この団体は地域で介護予防や健康づくりを支えるボランティア団体で、介護予防サポーター養成講座を受講した卒業生で構成され、普段から「自分たちのための介護予防活動」を行っています。

授業では、同団体が約3年をかけて制作した「宗像いろはかるた」を活用します。このかるたは、宗像市内の名所や特産品を題材に、取材や読み札づくりなどを経て完成したもので、楽しみながらふるさとの魅力に触れることができる内容になっています。子どもたちが実際に「宗像いろはかるた」で遊びながら、応援団のメンバーから介護予防への取り組みや、かるた制作に込めた思いを学びます。子どもたちにとっては、目標をもって活動している高齢者と触れ合い、身近な福祉について考えるきっかけとなる時間です。

また、「ゆめクラブ応援団」にとっては、学校の授業に参加することで、新たな経験を得る機会となり、今後の活動の広がることが期待されます。

【「ゆめクラブ応援団」特別授業 概要】

日 時： 10月7日(火) 13:45~14:30(5限目)

場 所： 東郷小学校 体育館

参加者： 東郷小学校6年生109人

ゆめクラブ応援団 5人

内 容： 介護予防について講話

かるた作成の経緯紹介

かるたで遊ぶ体験



《今回寄贈する宗像いろはかるた》

【問い合わせ先】 ※ご取材いただける場合は事前にご連絡ください

宗像市地域教育連携室 担当：南 TEL：0940-36-1169